

令和6年度第1回碧南市明るい選挙推進協議会会議録

- 第1 日 時 令和6年10月10日（木）午後2時00分
- 第2 場 所 碧南市役所 2階 談話室2・3
- 第3 出席した委員
- (1) 明推協委員 高松委員、北村委員、中村委員、石原委員、榑原委員、三浦委員、大竹委員、多田委員、加藤委員、佐藤委員
- (2) 選管委員 栗津委員長、岡本委員、高山委員、杉浦委員
- 第4 欠席した委員 小杉委員、磯貝委員
- 第5 参会した職員 杉浦書記長、小笠原書記長代理、杉浦書記、伊東書記
- 第6 会議の概要 (午後2時00分 開会)

1 あいさつ

2 辞令交付

3 会長・副会長の選出について

4 議 題

(1) 第50回衆議院議員総選挙等の概要について（P1～2、参考資料P3～6）

(2) 第50回衆議院議員総選挙等の啓発計画（案）について（P7～9）

(3) その他

(午後2時40分 閉会)

上記は、令和6年度第1回碧南市明るい選挙推進協議会の会議録である。

令和6年10月10日

議事の要旨

1 あいさつ

2 辞令交付

3 会長・副会長の選出について

会長に高松委員、副会長に北村委員、中村委員が選出された。

4 議題

(1) 第50回衆議院議員総選挙等の概要について

事務局が会議資料に基づき、第50回衆議院議員総選挙等の概要について報告した。主な質疑については下記のとおり。

(委員) : 前回衆議院議員総選挙と今回の選挙で何か変更点があるか。

(書記) : 4月の市長市議会議員選挙から投票所18箇所に車椅子を備え置くこととした。

(委員) : 投票率に関しては、18歳よりも19歳、20歳で下がっている。初めて投票に行った後、投票に行くことをやめてしまうことが若年層の投票率の低下に繋がっていると感じる。

(委員) : 自治体の判断で電子投票を行うことはできるか。

(委員) : 過去に実施した自治体はある。ネットワーク障害等など課題も多くあり、継続導入や全国的に広がりには繋がっていないのが現状である。

(2) 報告事項 第50回衆議院議員総選挙等の啓発計画(案)について

事務局が会議資料に基づき、第50回衆議院議員総選挙等の啓発計画(案)について報告した。主な質疑については下記のとおり。

(委員) : 碧南市長・碧南市議会議員選挙の街頭啓発活動に取材が来た。

(書記) : 今回は現時点で取材の申入れはない。前回は市長市議会議員選挙ということもあり、報道機関より事前相談があり、店舗の許可を得たうえで取材を受けることとなった。

(委員) : 啓発活動の一環として、高校生向けに啓発物品を配布するのは良いことだと感じる。

(書記) : 今回の選挙は告示日や投票日までの期間が短かったため、準備できる資材に限りがあった。啓発活動の内容等については次回選挙以降も検討する。

(委員) : SNSを使用した啓発について、LINEは登録者への通知に限定され、Facebookは利用者が減っている。Instagramを使用することも有効ではないかと考える。

(書記) : 広報担当者とも相談して、Instagramの活用も検討する。

(委員) : 前回の衆議院議員総選挙では、西三河の中で投票率が一番低かったが、市役所内でも議論はあるか。

(書記) : 市議会の場合でも議論となったこともある。今後も効果的な啓発ができるよう検討する。

(3) その他

特になし